

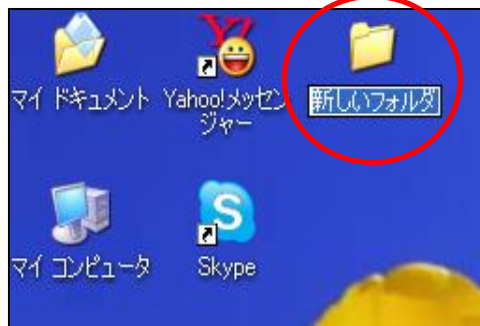
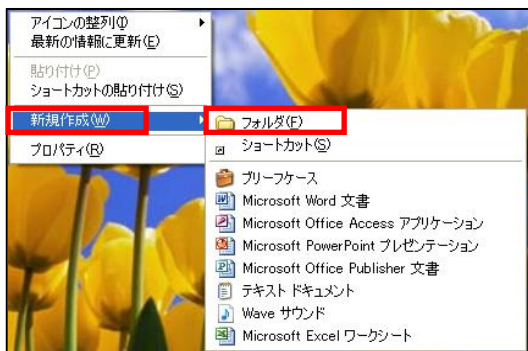
# 写真の面白加工

2011年5月23日作成

## ＜JTrim を使って、写真をいろいろ加工して楽しんでみましょう＞

### I. 加工した写真は別のフォルダに保存して、オリジナル写真の変更紛失を防ぎましょう。

デスクトップ画面で、右クリックして[新規作成]から[フォルダ]をクリックする。デスクトップ画面に[新しい フォルダ]が表示されて、名前部分が枠で囲まれているので、そのまま『加工写真』と、入力する。このフォルダに、これから作成する加工写真を保存します。



### II. 写真を円形に切り取る。

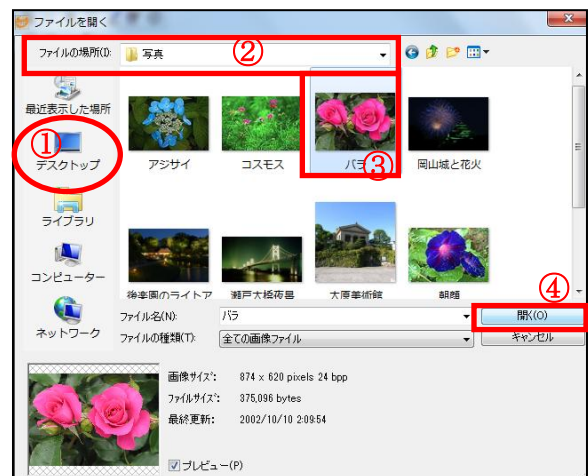
#### ① JTrim を立ち上げて写真を表示する。

\*今日の学習資料を開いて『JTrim』をダブルクリックする。

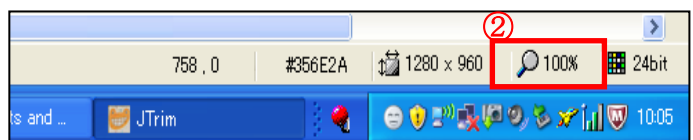
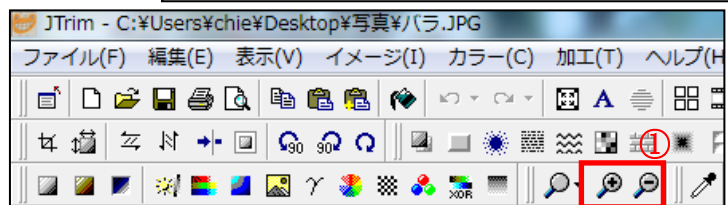


このアイコンをダブルクリックする。

\*JTrim 画面メニューの[ファイル]から[開く]をクリックすると「ファイルを開く」画面が表示される。①デスクトップをクリックする②ファイルの場所は本日の学習資料から『写真』を選択する③使う写真をクリックする④[開く]をクリックすると JTrim 画面に写真が表示される。



\*JTrim に表示された写真が、大きすぎる場合は、写真の表示サイズを小さくします。画面上の①[ズームアウト]をクリックするか、右下の②100%を50%～25%にズームアウトして、表示写真のサイズを変更します。★写真そのもののサイズが変更されたわけではありません。

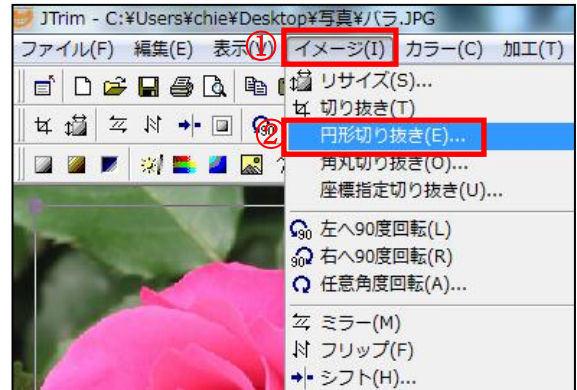
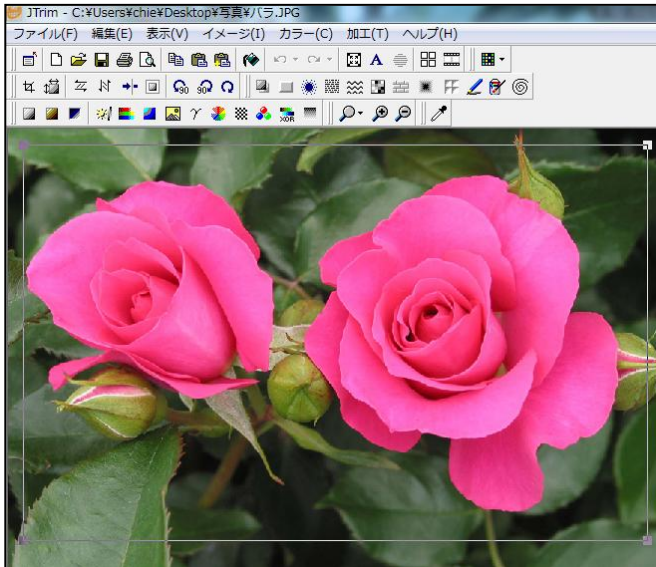


②写真を加工します。

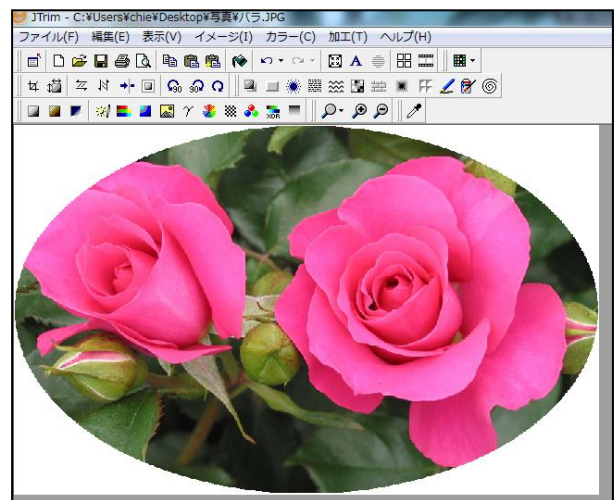
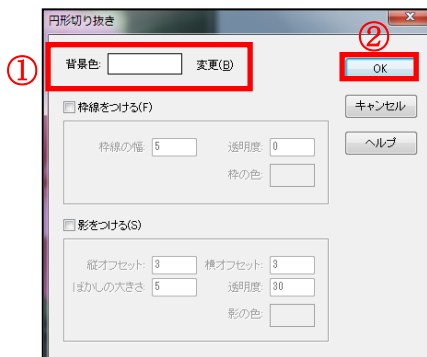
\*切り取る部分を枠で囲む。

楕円・縦長の丸・まん丸など、切り抜きたい部分を中心として、写真の上で、マウスを左クリックのままドラッグして枠を作る。(失敗したらやり直しができる)

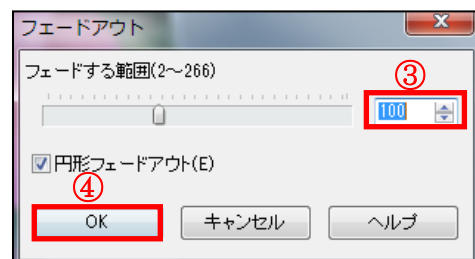
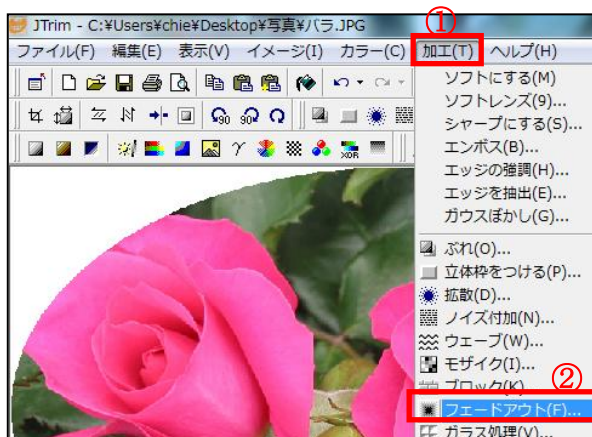
メニューバーの①[イメージ]から②[円形切り抜き]をクリックする。



\*「円形切抜き」画面が表示されるので①背景色を白にして②[OK]をクリックすると写真が丸く切り抜かれて表示される。



\*メニューバーの①[加工]から②[フェードアウト]をクリックすると、「フェードアウト」画面が表示されるのでフェードする範囲を③『100』にして④[OK]をクリックする。



\*写真の周囲に、ぼかしがかかります。背景を灰色にして切り抜くと右側のようになります。即ち、写真自体が円形になったのではなく、方形の写真は変わらずに円形以外の部分が、白色等の背景を持ったもので、この部分は透明ではありません。背景色をもう一度白色にするには、イメージから円形切り抜きにして、背景色を白にする。

<背景色を白にした写真>

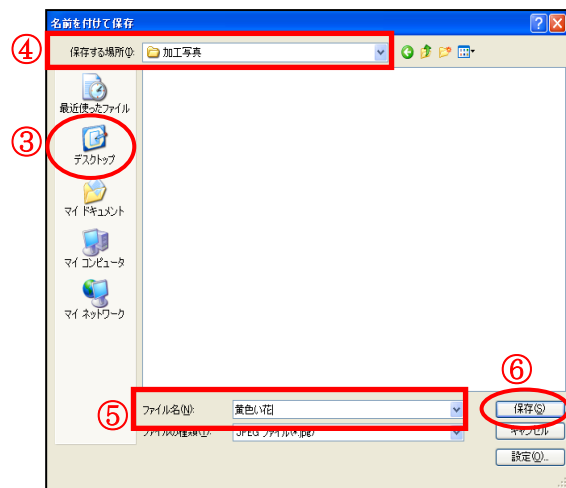
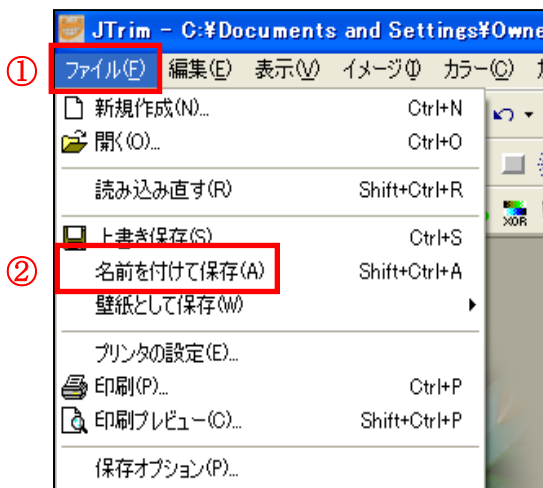


<背景色の白が消えた写真>



③加工した写真を保存します。

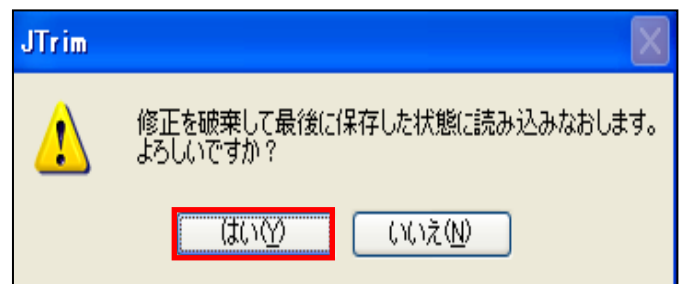
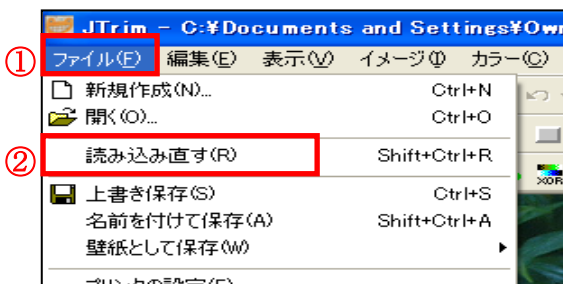
\*JTrim メニューの①[ファイル]から②[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所は③デスクトップの④加工写真を選択して⑤ファイル名を入力⑥[保存]をクリックする。



### Ⅲ. 写真に文字や題名を入れる。

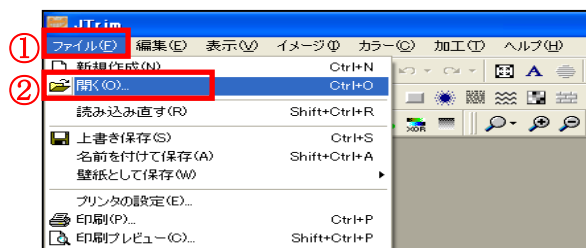
①文字を入れる写真を表示する。

\*事前作業として JTrim 画面に、前に使った写真が残っているので、①ファイルから②[読み込み直す]をクリックする。『修正を破棄して最後に保存した状態に読み込みなおします。よろしいですか?』の、画面が表示されたら[はい]を、クリックする。尚、この画面が表示されないこともあります。

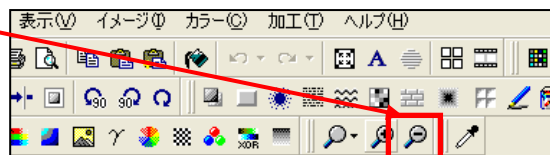


\*Jtrim メニューの①[ファイル]から②[開く]をクリックする。

\*「ファイルを開く」画面が表示される③デスクトップをクリックする④ファイルの場所は、本日の学習資料から『写真』を選択する⑤使う写真をクリックし、左下のプレビューで写真を確認して⑥[開く]をクリックする。



\*JTrim に表示された写真が、大きすぎる場合は、写真の表示サイズを小さくします。画面上のツールバーから[ズームアウト]をクリックする。右下の 100% を 50%~25% にズームアウトして、表示写真のサイズを変更する。



②写真に文字を入れる。

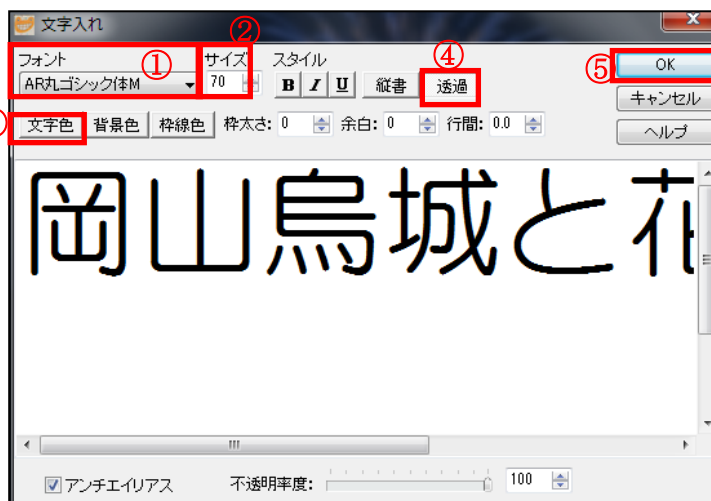
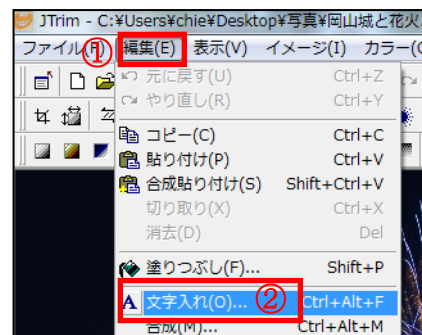
\*メニューバーの①[編集]から②[文字入れ]をクリックする。「文字入れ」画面が表示される。

\*①フォント (AR 丸ゴシック体 M) ②サイズ(70) ③文字色をクリックすると「色の設定」画面が表示される。入力

画面に文字が残っていたら [Delete] で削除する。色を選んで④[透過]をクリックすると 文字の背景が透明になる⑤[OK]する (フォントは PC 機種によって違うので好きなものを選ぶ)

\*文字の周りに囲み線があれば、枠太さをゼロにする。余白と行間をゼロにする。不透明率は 100 にする。③

\*「文字入れ」画面に文字を入力する。写真の左上に文字が表示されるが、文字サイズを変更するには、「文字入れ」画面のサイズ部分の数が大きくなる。文字サイズは、写真原寸に対する大きさですから、通常使用するサイズではゴマ粒サイズで見えませんが、文字色が写真と同じ色では見えませんから、目立つ色にする必要があります。



\*文字の位置を移動する。この時大切なことは、文字入れ画面を消さずに写真上の文字をドラッグ移動する（文字入れ画面を消すと文字の移動が不可能となる・・・慌てないで元に戻してやり直せば良い）「文字入れ」画面をOKで閉じる。

③出来た写真を保存します（Ⅱの③と同じ要領で保存する）

JTrim メニューバーの[ファイル]から[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所はデスクトップの加工写真フォルダにする。下のファイル名を入力して[保存]をクリックする。



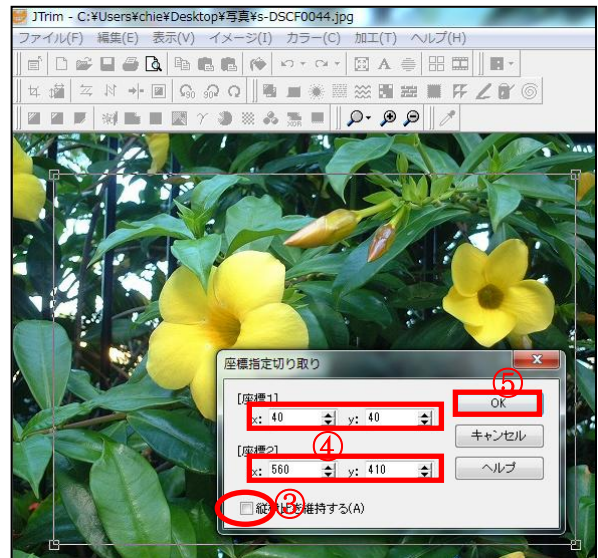
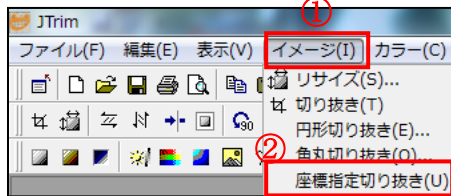
#### IV. 写真に縁取りをつける

①JTrim を立ち上げる。メニューバーの①[ファイル]から②[開く]をクリックする。『ファイルを開く』画面が表示される。③デスクトップをクリックする④ファイルの場所は本日の教材から『写真』を選択して⑤使う写真をクリックする⑥[開く]をクリックする。この時使用する写真の大きさは、600×450pxのサイズを uses。⑦画像サイズの確認ができます。（今回準備した写真は、縮専を使ってサイズ変更しました）

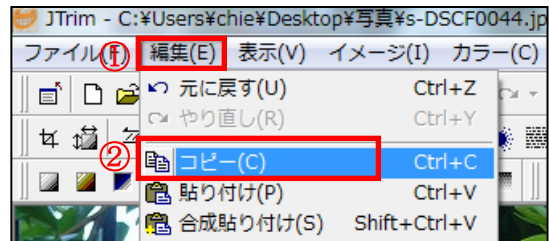
★最後の参考資料に JTrim を使ったリサイズ方法の説明を載せています。



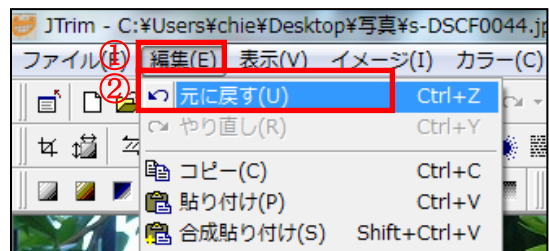
②メニューバーの①イメージから②[座標指定切り抜き]をクリックする。座標指定切り取り画面が表示される③ [縦横比を維持する] のチェックはオフにする。④座標部分に入力する(座標1) X: 40 Y: 40(座標2) X: 560 Y: 410の数値にすると写真上に囲み枠が表示される⑤[OK]をクリックすると囲み線が消えて、切り取った写真に変わる。



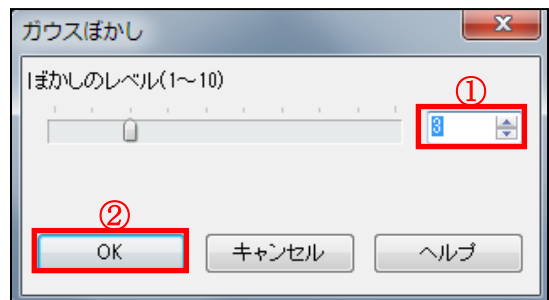
③切り取った写真をコピーする。メニューバーの①[編集]から②[コピー]をクリックする。(注意・この時点で、コピーを忘れると上書き合成する時に、この場面まで戻ってやり直す事になります。)



④メニューバーの①[編集]から②[元に戻す]をクリックしたら、範囲指定枠を外す。(範囲指定枠を外すには、囲み枠より外の部分でクリックすると枠が消える)

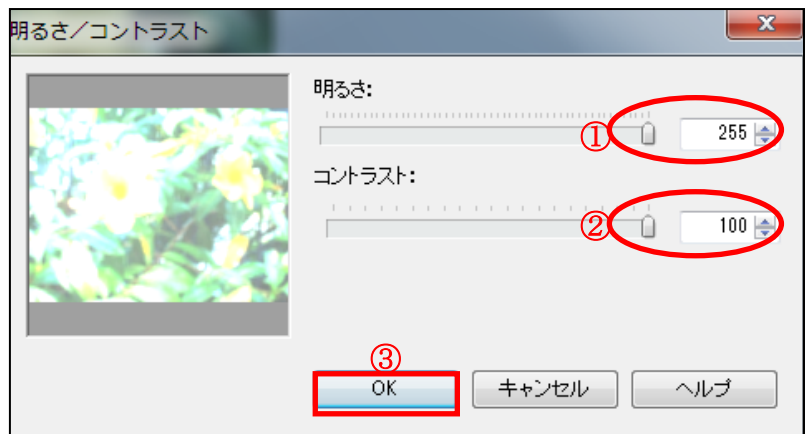


⑤メニューバーの[加工]から[ガウスぼかし]をクリックする①ぼかしのレベルを(3)にして②[OK]をクリックする。

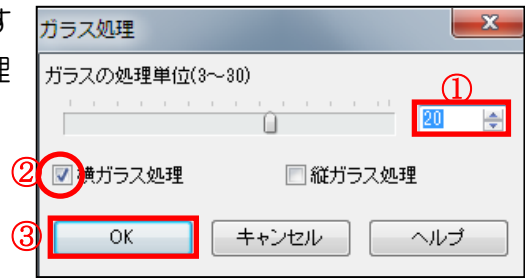


⑥メニューバーの[カラー]から[明るさ/コントラスト]をクリックする。①明るさは最大(255) ②コントラスト最大(100)にして③[OK]をクリックする。

数値を移動する目盛を右端にドラッグしてもいい



- ⑦メニューバーの[加工]から[ガラス処理]をクリックする  
①ガラス処理単位を（20）にして②横ガラス処理にチェックを入れて③[OK]をクリックする。

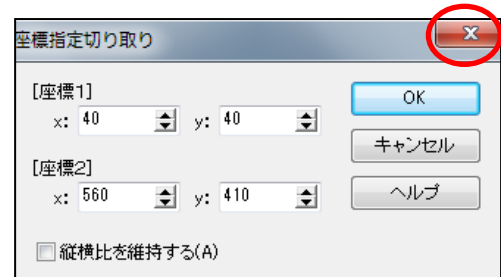


- ⑧メニューバーの[加工]から[エッジの強調]をクリックする  
①レベルを最大の（20）にして②[OK]をクリックする。

数値を移動する目盛を右端にドラッグでもいい

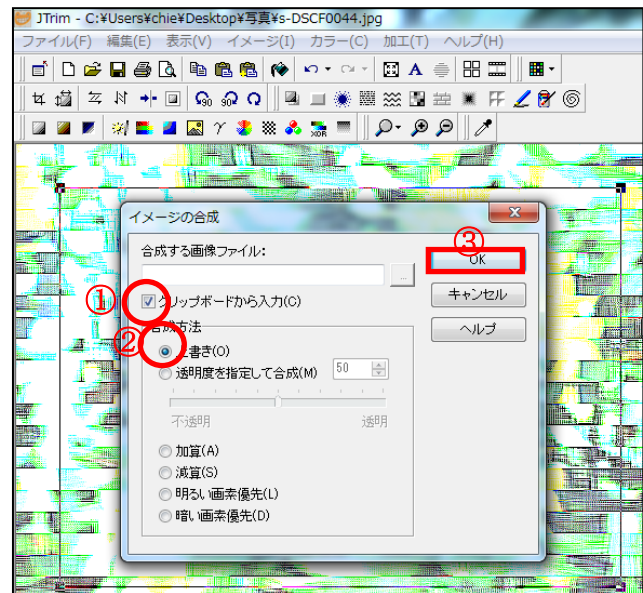


- ⑨メニューバーのイメージから[座標指定切抜き]をクリックする。写真上に[範囲指定枠と切り取り]画面が表示されるが、範囲指定枠を表示させる為である。切り取り画面を✕で消す。範囲指定枠は触らない。

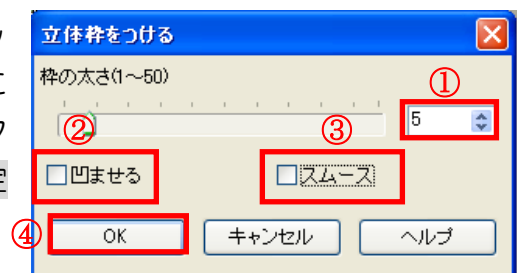


- ⑩写真の範囲指定枠が表示されている状態でメニューバーの[編集]から[合成]をクリックする。『イメージの合成画面』が表示されるので①クリップボードから入力にチェックを入れる②上書きにもチェックを入れて③[OK]をクリックする。範囲指定枠は外さないこと。

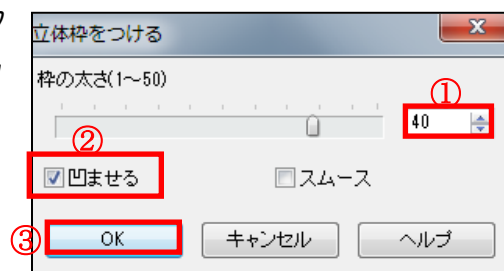
(③でコピーするのを忘れたら、もう一度注意の部分からやり直します。)



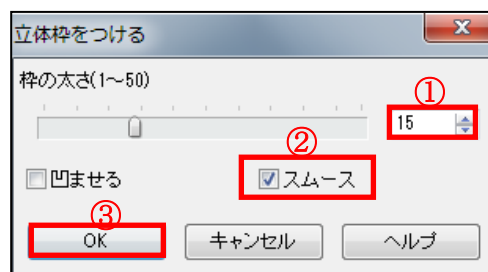
- ⑪メニューバーの[加工]から[立体枠をつける]をクリックする。立体枠をつける画面の①枠の太さを（5）にして②凹ませると③スムーズ部分は両方共チェックを外して④[OK]をクリックする。写真上の範囲指定枠より外でクリックして範囲指定枠を外す。



⑫メニューバーの加工から[立体枠をつける]をクリックする。①枠の太さを（40）②凹ませる部分にチェックを入れて③[OK]をクリックする。



⑬メニューバーの加工から[立体枠をつける]をクリックする。①枠の太さを（15）凹ませる部分のチェックをとって②スムーズ部分にチェックを入れて③[OK]をクリックする。同じ事を繰り返して2回行う。

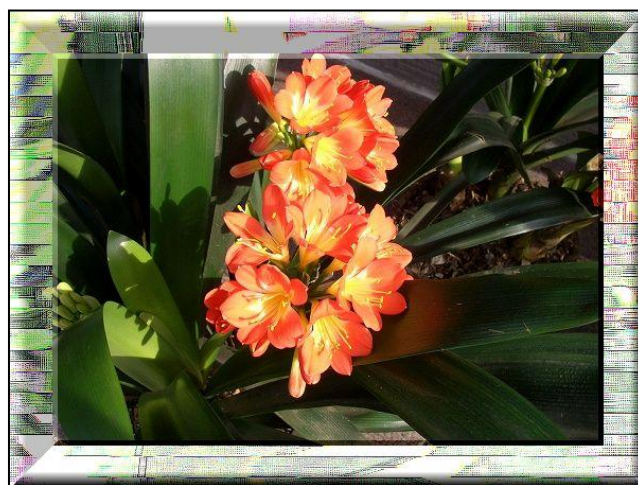


⑭縁取り写真の完成です。JTrim の左上のファイルから[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所はデスクトップの加工写真フォルダにします。下のファイル名を入力して[保存]をクリックする。（保存方法はⅡの③を参照）

#### <縁取り写真の完成品>



#### <縁取り写真のおまけ>



#### <参考>

今回の勉強会で使用するのは三つの機能だけですが JTrim では色んなことが出来ますので、色々触ってみましょう。保存するときは間違っても上書き保存しないように、オリジナル写真が無くなってしまいます。

写真には写真撮影年月日や撮影条件が保存されており、それらはプロパティから見る事が出来ますが、写真を加工するとそれらのデータが引き継がれないことがあります。JTrim ではファイル[メニュー]の保存オプションから「Exif データを保存する」にチェックを入れておくことで加工写真にもデータを引き継ぐことが出来ます。



★JTrim を使ってリサイズする。

JTrim を開いて、メニューバーの①[イメージ]から②[リサイズ]をクリックする。リサイズ画面が表示される。③サイズで指定する部分にチェックを入れる。数値はピクセルで④（横 560×縦 420）と入力して⑤縦横の比率を保持する。にチェックを入れて⑥[OK]する。（注意：リサイズした写真を加工しても、保存するときは、名前を付けて保存すること。上書き保存にすると、元々の写真がなくなってしまいます。）

